




## ■ 事故類型毎の平均整備効果（国管理箇所）

事故類型	主な対策工種	事故低減効果
追突事故		事故低減率 29.5%
右折事故		事故低減率 18.5%
左折事故		事故低減率 36.0%

○主な対策工の整備効果は概ね確認されましたが、場所ごとにさまざまな複合要因があることを踏まえ、対策効果がない箇所では、継続して経過観察および追加対策検討を行います。

# 対策実施箇所のフォローアップ（事故ゼロプラン以前）

## ■ 対策済箇所の結果検証（国管理箇所）

- 事故ゼロプラン対象箇所は対策後1～2年しか経過しておらず、データが不十分なため、次回委員会以降でフォローアップ(対策結果検証)を行います。
- 今回は事故ゼロプラン以前の施策箇所の結果検証を行いました。

### ◆ 検証箇所の施策

事故ゼロプラン開始以前行われた、下記の事故対策施策を対象としました。

- 平成15年 「事故危険箇所（174箇所）※1」
- 平成18年 「交通安全みえる化プラン（34区間）※2」
- 平成19年 「新・交通安全みえる化プラン（37区間）※2」

- ※1 安全性向上委員会発足前の平成15年に、公安委員会・国交省・群馬県において「**事故危険箇所(174箇所)**」を指定して、優先的に事故対策を進めました。
- ※2 安全性向上委員会(平成17年11月発足)では、「**交通安全みえる化プラン(安全性向上を図るべき区間)**」を指定して、優先的に事故対策を進めました。

### ◆ 検証箇所の施工年次

平成17～20年に施工した42箇所について、対策後の事故状況を集計しました。

- 安全性向上委員会の始まった平成17年以降の施工箇所を対象としました。
- 対策後1～2年のデータ集計では信頼性低いため、対策後3～7年の事故データ集計の出来る平成20年までの施工箇所(国管理42箇所)を対象としました。



